

第七十四回帝國議會
衆議院

酪農業調整法案委員會會議錄(速記)第六回

付託議案
酪農業調整法案(政府提出)

會議

昭和十四年三月十日(金曜日)午後一時十七分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 田中 万逸君

理事鹽川 正藏君 理事深澤 吉平君

理事藤生安太郎君

坂下仙一郎君 內藤 守正君

河野 一郎君 吉植 庄亮君

松尾 孝之君 北 勝太郎君

小田 榮君 野溝 勝君

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣 櫻内 幸雄君

出席政府委員左ノ如シ

農林參與官 林 讓治君

農林省畜産局長 岸 良一君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

酪農業調整法案(政府提出)

○田中委員長 是ヨリ開會致シマス——深澤君

○深澤委員 我ハ主務大臣ノオ出デヲ得マシタノデ、二三酪農及ビ農業ニ關聯スルコトニ付キマシテ質問致シマス、時間ガアリマセヌノデ、言葉ヲ少シ早メマシテ要點ヲ

ケ御伺シタイト思ヒマスガ、時局以來、酪農及ビ農業ニ於キマシテ、經營ノ上ニ非常ナ行違ヒガアリマシタ、此ノ點ヲ御伺シタイ、例ヘテ申シマス、米、小麥、穀物、所謂食料農産物、更ニ酪農ニ關シマシテハ「バター」「チーズ」練乳、斯様ナ農産物ノ値上リヲ經濟市場ニ付テ調べマス、昭和十二年度ノ春ノ相場ヲ一〇〇ト致シマシテ、

本年即チ十四年一月ニ比較致シマス、農産物酪農物資ト云フモノハ一〇六・八デアリマス、値上リガ一〇〇ニ對スル一〇六・八デアリマスカラ、六分八厘ノ値上リデアリマシテ、購入物資ノ肥料デアルトカ、農具、

農具器械、飼料、斯様ナモノヲ見マス、一二・四デアリマス、此ノ計算ノ基礎ヲ申シマス、本員ノ調査デアリマシテ、此ノ調査ノ基礎ハ「ダイヤモンド」調べノ事變前ノ調べ及ビ本年ノ一月ノ三菱經濟研究所ノ調べニ依ツタノデアリマスガ、斯様ナ結果ト致シマシテ、農業經營其モノノ根本ガ、

物動計畫ト並行致シマシテ、非常ニ難點ニ突當ツテ居ルノデアリマス、故ニ以下私ハ所見ヲ述べマシテ、大臣ノ御意見ヲ伺ヘレバ幸ヒダト思ヒマス

農林水産物確保ニ關シ左ノ二點ニ關シ政府當局ニ於テ確固タル方針ヲ樹立スルヲ要ス

一、原材料需給統制機構ノ確立
農林水産必需物資ニ付テハ其ノ重要性ニ鑑ミ他ノ一般物資トハ明確ニ之ヲ區別シ、其ノ必需量ハ軍需資材ニ準ジテ之ヲ優先的ニ確保スルヲ要ス

二、製造並ニ配給機構ノ統一
確保セラレタル本物資ヲ公正ナル價格ヲ以テ正當需要者ニ適正ニ配給セシムルノ爲ニハ、本物資ニ關スル配給機構ヲ完全ニ統制スルヲ要ス

右二點ニ關シ改善刷新ヲ要スル事項左ノ如シ
一、原材料需給統制機構上ノ改善事項
現狀ニ於テハ先ヅ企畫院ニ於テ豫メ各省ヨリ明細ナル必需物資數量ヲ提出セシメ、之ニ依リテ許與數量査定ノ基礎ト爲シツツアルガ如キモ、其ノ總數量ヲ裁定ヲ見タル場合ニ於テ其ノ總數量ヲ商工省ニ對シテ白紙委任シテ居リ、隨テ商工省臨時物資調整局ハ獨自ノ判斷ニ依リ各民需量ヲ決定スル現狀ナリ、農林省資材課ハ此ノ間商工省臨

時物資調整局ニ對シテ必需物資ノ陳情要請ヲ爲シツツアルモ、殆ド其ノ要求ハ顧慮セラレザルノ實情ニアリ、斯ノ如クシテ必需物資ノ確保ヲ保スルノ方途ナシ

本機構ニ關シテハ農林省臨時農村對策部ノ設置ニ依リ一應政府ノ意圖明ナルガ如シト雖モ、尙ホ此ノ點ヲ明瞭ナラシムルト共ニ今後ノ對策ヲ講ズルヲ要ス

(一) 物資ノ需給事務ニ關スル商工省臨時物資調整局ト農林省臨時農村對策部トノ關係ヲ明確ナラシムルコト調整局ノ官制ニ依ル「時局ニ緊要ナル物資ノ需給ニ關スル事務」ト對策部官制ニ記載セラレ居ル「農林水産業ノ經營ニ必要ナル物資ノ配給」トノ關係ヲ明確ニシ以テ對策部ノ權限ヲ明カニスルコト

(二) 當面ノ對策
「配給」ハ原材料ノ分割ニ關スル參與權ヲ意味セズトスルモ、農林水産必需物資ノ配給ニ關スル限リハ即時農林省專管トスルコト(如何ナル物資ヲ幾何量マデ專管配給物資トスルカハ政治的折衝事項トスルモ實際問題トシテハ次項根本對策ト左シテ異ナル所ナカルベシ)

(三) 根本對策

尙ホ今後ノ根本對策トシテハ現狀ヨリ理想的機構ニ至ルマデ左ノ順位ヲ考慮スルコトヲ得ベシ

一、農林水產經營必需物資ニ關スル限り調整局ト全ク同一ノ權限ヲ賦與シ一般物資トノ分離ハ兩省合議ニ依ラシムルコト

二、企畫院ニ於テ兩省ニ分離シ各別ニ原資材ノ割當ヲ爲ス制度トスルコト

三、企畫院自身ニ於テ直接物資全般ノ需給調整事務ヲ司ルコト

(四) 農林水產必需物資ノ統制對策ハ「輸出入品等ニ關スル臨時措置ニ關スル法律」ニ基ク省令ヲラシムルコト

現在計畫サレツツアル必需物資ノ需給統制ハ單ニ官廳内部ニ於ケル行政方針ニシテ強制力ニ於テ遺憾アリ、措置法ニ基ク命令ヲ以テスルモ、尙ホ必ズシモ強行シ得ザル實情ナルニ鑑ミル時本對策ノ強化ハ絕對ニ必要ナルモノアリ、須ク措置法ニ基ク農林省令又ハ農林商工省令ヲ以テ公布スルコトヲ要ス

(一) 製造並ニ配給機構上ノ改善事項
必需數量ノ調査
必需資材ノ供給基礎タルベキ必需量ノ調

查ハ絕對嚴正ナルコトヲ要ス

然ルニ、從來ノ實需調査ノ多クハ製造業者又ハ、販賣業者ノ申告、若クハ地方道府縣主管課推定等ニ依ルモノニシテ、方法ニ於テ粗雑、數量亦粗漏ニシテ、實際需要ニ適合セザルコト甚シキモノアリ例ヘバ「ガソリン」購買券配付ノ際、業者ノ需要申告量ガ甚シク區々ニシテ信憑シ得ザルモノナリシコト、或ハ綿絲割當切符ノ配付ニ當リテ業者ノ申込數過大ニシテ例年ノ統計實數ヲ遙ニ超過セシコト等ハ既ニ周知ノ事實ナリ、農機具、「ゴムロー

ル」等ノ需要調査モ亦同様杜撰ニシテ、全然農業者ニ就キ直接調査セルモノニアラズシテ信賴ヲ置ケ能ハザル現狀ニアリ農林漁業用資材ノ必需調査ニ當リテハ、農林漁業經營ニ密接セル農會、產業組合、漁業協同組合等ヲシテ、嚴密ナル調査ヲ行ハシメ、之ヲ基礎トシタル需給調整ヲ計ルコトガ絕對ニ必要ナリ產業組合ニアツテハスル事務ニ備フル爲中央、道府縣、市町村ニ既ニ物資調整委員會ヲ設置シツツアリ

(二) 農林漁業用必需物資原材料ニ付テハ軍需資材ニ準ジテ確保セラレタキコト
肥料ニ關シテハ今議會ニ於テ陸相ヨリ考

慮ヲ講ズベキ言明アリト雖モ、其ノ他ニ關シテハ、未ダ十分ナル保證ナシ

例ヘバ農機具ハ最優位ノ主要食糧生産用機具ニ付テスラ鐵鋼配給割當順位ニ於テ、第二順位ノ(十二)ニシテ、全體中ノ第三十一位ニ過ギザル等ノ現狀ニシテ、全般ニ付テモ何等農林漁業生産力維持増進ノ爲配慮ヲ加ヘラレルコトナシ

其ノ他ノ必需物資ニ付テハ釘、針金、空罐等僅ニ農林水產用トシテ用途ヲ分離セラレタルモノ(但シ右ノ物ト雖モ數量不十分ナルノミナラズ、其ノ分離モ官廳内ノ行政方針タルニ止マリ措置法ニ基ク命令ニ至ラズ)ヲ除クノ外ハ全然自由製造配給ニ屬ス

(三) 農林漁業用必需物資ノ需給統制ハ農林省專管トセラレタキコト

イ、現在一應農林省專管方針ノ決定セルモノ
肥料、飼料、農機具、釘、針金、空罐等
ロ、未ダ農林省專管タラザル火急ノ必需物資

農藥、石油、漁網、「ロープ」、地下足袋、「ゴム靴」、防水著、作業用服類、作業用「シャツ」、軍手、晒布、紺織、

綿木綿等

但シ、一應農林省專管ノ形態ニアルモノト雖モ、其ノ原材料ノ配給ニ付テハ商工省ヨリ直接工業組合ニ供給シテ製造販賣セシムルモノニシテ、其ノ製造過程ノ間ニ、何等農林省ノ管理、指示ノ及ブ所ナシ、爲ニ後記ノ如キ缺陷ヲ生ジツツアリ、須ク專管物資ヲ擴張スルト共ニ需給ノ全過程ニ互ル確タル方針ノ決定ヲ要ス

(四) 現在ニ於ケル製造並ニ配給ノ過程ハ、原資材ノ割當ヲ總テ製造工業者ニ與フルヲ以テ第一歩トナシ流通ノ過程ニ至ルモノナレドモ、之ガ爲ニ左ノ如キ不合理ノ結果ヲ生ジツツアリ

一、最高價格ガ生産「コスト」ニ比シテ高キコト

二、最高價格以下ノ配給價格ヲ期待シ得ザルコト

三、最高價格行ハルルモ、規格低下スルコト

四、割當原資材ガ目的製品以外ノ製造ニ流用セラルルコト

五、製品ノ流通過程ニ於テ、製品ガ有利ナル方面ニ偏在シテ、配給上公正ヲ缺クコト
最高價格ト雖モ、其ノ決定當時マデニ

種々ノ經濟關係ニ基キテ自由ニ成立セ
ル價格ヲ以テ、ソレ以上ニ騰貴セシメ
ザル建前ニテ制定シタルモノニ過ギズ、
其ノ基本關係ニ於テハ、原資材ノ價格
ヨリ算出セラレタル公正ナル生産原價
ヲ基準トスルモノニアラズ、斯ノ如キ
不徹底ナル價格政策ナルニ於テハ需要
ニ對シ供給少キ場合ニ、營利機構上物
價ノ低下ヲ期待スル事不能ナルハ必然
ナリ、更ニ業者ハ最高價格ノ範圍内ニ
於テ極力利巾ヲ廣クセンガ爲ニ、品質、
規格ヲ著シク低下シツツアリ、最近ノ
地下足袋、ゴム靴等ニ於テ既ニ著シ、
輸出振興上下國民生活安定上下ニ於テ
價格抑制ノ絕對必要ナル今日ニ於テ、
斯ノ如キハ一日モ忽セニシ得ザル實情
ナリト云フベシ、更ニ流通經過ニ付キ、
一例ヲ地下足袋ニ求ムレバ、其ノ原料
綿絲ハ綿工聯ヲ經テ織物業者ニ割當テ
ラレ、ソレヨリ地下足袋工場ニ移サレ、
又原料ゴムハ護謨工聯ヲ經テ、單ニ履
物用トシテ工場ニ移サルル制度ナルモ
(即チ工場者擁護中心ノ制度ト謂ヒ得)

ナル製品、例ヘバ運動靴ノ如キモノノ
製造ニ流用シテ、目的製品トナラズ、
尙ホ鐵鋼原料ノ流用ニ於テ特ニ甚シキ
モノアリ、更ニ又、製品トナリタルモ
ノガ、有利ナル方面ニ偏在シテ、例ヘ
バ地下足袋ガ公定價格制ナキ滿洲方面
ニ流出シ、更ニ内地ニ於テモ支拂條件、
運賃其ノ他ノ利害關係ニ應ジテ流レル
等ノ事實頻出シテ、眞ニ必要ナル農村方
面ニ公平ニ供給セラレザル實情ヲ見ル
以上ノ流通過程ニ於ケル不合理ヲ防止
スル方法トシテ、必需物資ヲ正當需要
者ニ公平ニ配給シ、更ニ之ガ價格ノ抑
制ヲ實現スル爲ニハ、需要者團體ニ原
資材ヲ供給シ、需要者團體ヲシテ工業
組合又ハ製造工業家ニ對シ任意ニ委託
製造セシメ、以テ原資材ニ「リンク」シ
テ製品ヲ受取り(隨テ目的製品原料ヲ
他ヘ流用スル餘地ナシ)之ヲ必需調査
ニ適合スルヤウ公正ニ配給セシムルコ
トガ絕對ニ必須ノ機構ヲラザルベカラ
ズ

斯ノ如キ方法ヲ採ル場合ニ於テノミ、始メ
テ少クトモ農林漁業用必需物資ニ付テ價格
ノ高騰ヲ抑止シ、且又品質規格ノ不當低下
ヲ防止シ得テ、缺狀價格差ヲ是正シ得ルモ
ノト思フノデアリマス、ソレデ此處ニ參考價
格ガアリマスカラ、是ハ速記録ニ載セマシ
テ、主務大臣ノ本員ノ意見ニ對スル御所見
ヲ御伺シタイノデアリマス

○櫻内國務大臣 只今ノ御質疑ハ總テ吾々
ノ憂慮シテ居ル所ニ合致シテ居ルコトデア
リマシテ、私共モ深ク感じテ同ジウスルノ
デアリマス、即チ農漁山村ノ必需品ノ確保
ト其ノ配給ヲ全クスルト云フコトハ、最モ
現在ニ於テ必要ナコトデアリマスノデ、其
ノ點ニ付キマシテハ非常ニ考慮致シテ居ル
ノデアリマスガ、何分ニモ總テ物資ガ足ラ
ヌ狀況デアリマシテ、思フヤウニ參ラナイ
ノハ非常ニ遺憾トスル所デアリマス、其ノ
方法トシテ御示ニナリマシタ、或ハ企畫院
カラ直接ニ資材ヲ農林省ニ振當テ、農林
省ガ自ラ是ガ配給ノ任ニ當ル、現在ノ商工
省ノ手ヲ煩ハストカ、商工省ノ物資調整局
ト切離シテ之ヲ考慮シテ行クト云フコトニ
付キマシテハ、御意見ノ通りニ參リマス
非常ニ便利ニナルト考ヘマシテ、是等ノ點
ニ付キマシテハ考慮ヲ致シテ居ルノデアリ
マスアレドモ、サウ致シマス各、省各皆
其ノ資材ヲ割取スルヤウナ傾ニナルノ
デ、其ノ實行ガ未ダ出來ナイヤウナ譯デア
リマス、但シ此ノ農漁山村ニ使ヒマスモノ
ハ、全ク他ノ需要ト飛離レテ眞ニ急ヲ要ス
ルモノデアリマスガ故ニ、ソレニ對スル配
給ニ付キマシテハ篤ト御意見ニ副フヤウニ
致シタイト思フノデアリマス

ソレカラ輸出入品ナドニ對シマシテ豫メ
一定シタ省令ヲ決メテ相當ナ措置法ヲ設ケ
ルト云フ事柄モ、御尤ナ事柄デアリマシテ、
此ノ點ニ付キマシテハ尙ホ考慮致シタイト
考ヘテ居ルノデアリマス

尙ホ配給機構ノ整備、是ハ今御指摘ニナ
リマシタ「ガソリン」ノ切符制度、或ハ綿絲
配給ノ狀態等ニ鑑ミマシテ、ソレガ公平妥
當ニ配給サレナイ點モナイデハナイノデア
アリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ此ノ配
給狀態ヲ更ニ嚴重ナル取締ト申シマスカ、
或ハ尙ホ一層公正ナル配給ノ方法、即チ切
符制度ノ完全ヲ期スルコトニ付キマシテモ
考慮致サナケレバナラスト思ツテ居ルノデ
アリマス

次ニ農漁山村ノ必需品ヲ農林省ノ專管ニ
スルト云フコトハ、是ハ農林當局トシテ屢々
問題ニナツテ居ル所デアリマスアレドモ、
先刻申上ゲマシタ通りノ事情ニ依リマシテ、
今日ハマダ實現ニナツテ居ラナイノデアリ
マスガ、若シ假ニ農林省ノ專管ニナリマセ
ヌデモ、少クトモ專管ト同様ニ相成リマス

ルヤウニ緊密ナ連絡ヲ取ツテ、農漁山村ノ必需品ノ需要ノ緊急ナル事柄ヲ明ニシテ、其ノ配分ヲ速ニスルコトニ付キマシテハ最大ノ努力ヲ拂ヒタイト思ツテ居リマス、其ノ配給ノ關係カラ、又他ノ關係モゴザイマスケレドモ、最高價格ヲ破ツテ、所謂俗ニ言フ闇取引ガ行ハレテ居ル、同時ニ公正ナル價格ノ實行ガ出來ズシテ、色々ナル物資材、内地ニ於テ使ハレナケレバナラヌ地足袋ヲ初メ、其ノ他農村ニ使フ品物ガ滿洲其ノ他ニ流出スル虞ガアルガ、之ヲ農村ニ行渡ルヤウニシナケレバナラヌト云フコトハ、偶、サウ云フコトヲ承リマシテ、此ノ問題ニ對シマシテモ、サウ云フコトノナイヤウニ考ヘテ居ルノデアリマシテ、之ニ付キマシテモ適當ナル方策ヲ講ジテ、今深澤委員ノ御心配ニナル點ニ付キマシテハ、ソレニ對應スル策ヲ執リタイト思フノデアリマス

○吉植委員 只今ノ大臣ノ御答辯ニ付キマシテ一寸重ネテ御尋シタイノデスガ、今問題ニナツテ居リマス農村資材ノコトデゴザイマスガ、滿洲方面ノ圓「ブロック」ノ中ニドンドン農村資材ガ逃込デ行ク、例ヘバ護謄底足袋ト云フヤウナモノハ運動具ノ方ガ高ク値段ガ賣レマスノデ、是ガ農村カラ都

會ノ方ニ流レテ行クト云フヤウナコトモ聞イテ居リマス、現在ハヤダソレ程デモアリマセスガ、是ガ秋ニナリマス、只今同僚カラ申シマシタヤウナ現象ガ餘程顯著ニナルノデハナイカト私共ハ之ヲ心配致シテ居ルノデアリマス、其ノ秋ノ非常ニ憂フベキ現象ガ來ラナイ前デモ、現在デモ非常ニ憂フベキ狀態ニナツテ居リマス、ソレガ實際農村ニ於テドウ云フコトニナツテ居ルカラ申上ゲテ見タイノデアリマス、此ノ千葉縣ノ成東町ニ於ケル現在ノ農村資材ノ價格其ノ儘記シマシタ此ノ數字ヲ御覽ニナルト、是ハ成程容易デナイト云フ御推論ガ付クト思ヒマス、之ヲ讀上ゲサシテ戴キマス、現在ノ價格ト昨年ノ丁度今頃ノ價格ヲ比較シテアリマス米ハ昨年ガ——田舎ノコトデスカラ一駄相場デ二俵ノ相場デアリマスガ、二十六圓五十錢致シテ居リマシタノガ、今ハ二十七圓七八十錢ニナツテ居リマス、此ノ値上リガ約四分デゴザイマス、麥ハ相當以上ノ高價ニナツテ居リマスガ、農家ノ手ニハ絶對ニ一俵モゴザイマセヌ、蕎麥大體左様ナコトニナツテ居リマス、所デ今度之ヲ生産シマス生産資材ハドウカト申シマスト、過磷酸石灰肥料デゴザイマスガ、七貫五百匁一俵ガ昨年ハ一圓九十錢デアリマ

シタノガ、只今ハ二圓四十錢ニナツテ居リマス、約三割高デアリマス、大豆粕ガ二圓五十錢ガ二圓九十五錢デ二割高ニナツテ居リマス、米糖油粕ハ二圓ノモノガ三圓十五錢デ約五割高ト云フコトニナツテ居リマス、晒木綿ハ七十錢ノモノガ一圓二十五錢デハ割高ニナツテ居リマス、地下足袋——田舎デ靴足袋ト言ツテ居リマスガ、是ハ八十錢ガ一圓二十五錢デ五割高ニナツテ居リマス、織色木綿ハ二圓十錢ガ四圓七八十錢デ、約二三割高ニナツテ居リマス、ココデ一寸申シ加ヘテ置キマスガ、織色木綿ト云フ木綿ガ農村ニドウ云フ役割ヲシテ居ルカト申シマス、農村ニ於ケル被服費ノ八割以上ヲ占メテ居ルノガ織色木綿デアリマス、農村ニ於テハ袂ノ付イタ著物ヲ著ル場合ト云フモノハ、先ヅ一日ノ勞働ヲ終ヘテ湯ニ入ツテ寛グ時カ、餘程ノ何カオ祝日デアルトカ、オ客様ニ行クト云フヤウナ時デアリマシテ、アトハ織色木綿デ作りマシタ勞働著ヲ著テ朝カラ晩マデ働イテ居リマス、ソレデアリマスカラ、是ガ被服費ノ大部分ト言ウテモ宜シヤウナコトニナツテ居リマス

○田中委員長 吉植君、御發言中デスガ、實ハ農林大臣ガ二時カラ研究會ノ方ニ説明

ニ行カレルノデ、其ノ間ニ河野君ノ質問ガアルノデゴザイマスカラ、其ノ點ヲ一ツ御考戴イテ……

○吉植委員 ソレデハ大急ギデアリマス

○田中委員長 政府委員ニ後デ願ツテハドウデスカ

○吉植委員 大臣ニ一寸……

○田中委員長 ソレデハ其ノ御心組デ急イデ下サイ

○吉植委員 サウ云ツタヤウナ譯デ織色木綿ト云フモノハ容易ナラナイモノニナツテ居リマス、ソレガ約十二三割高、毛「シャツ」ガ二圓七十錢ノモノガ四圓約五割高、綿「シャツ」ガ一圓十錢ガ一圓九十錢デ七割高、鉄ガ百匁四十五錢ガ八十錢ニナツテ居リマシテ、是ガ九割高、鎌ガ五十錢ノモノガ七十錢デ八割高、釘ガ十二三錢ノモノガ二十錢デ約七八割高「トクシ」板ガ一圓二十錢ノモノガ一圓五十五錢デ三割高ニナツテ居リマス、尙ホ農村ニ於キマスル青少年ヲ事務員其ノ他ニ使フノニ、高等小學卒業者ガ日給三四十錢、高等女學校卒業者ガ五十錢、中學卒業者ガ五六十錢デアリマスノガ、東京ニ就職シマス、何レモ十二三割乃至十四五割高ニ就職出來マスカラ、此ノ者ハドン／＼都會ニ入ツテシマヒマス、斯様ナ

状態ニ現在デサヘナツテ居ルノデアリマス
カラ、是ハ唯机上ノ上デ此ノ程度デ容易デナ
イト云フヤウナ問題デナクシテ、大臣ガ屢、
仰セラレルヤウナ増産計畫ヲ立テテ行カ
ウト云フ場合ニナリマス、此ノ數字ヲ克
服シナイ限りハ、増産ト云フコトハ唯口ニ
言ウテ實際ニ行ハレナイコトハ明カデアリ
マス、此ノ點ニ付テ大臣ガ此ノ數字ヲ何處
マデ克服シテ下サレマスカ、又克服ハ出來
ナイト云フコトデゴザイマス、其ノ點ヲ
御伺致シタイノデゴザイマス

○櫻内國務大臣 農村ニ於ケル物價ガ非常
ナ暴騰ヲ致シテ居ルノミナラズ、特ニ農村
ニ於ケル必需品ノ騰貴シテ居ルコトハ、今
吉植君ノ御話ノ通りデアラウト思ヒマス、
是ハ農村トシテハ容易ナラザルコトデアリ
マスガ故ニ、之ニ對スル適當ナ對策ヲ執ラ
ナケレバナラスト存ジテ居リマス、併シナ
ガラ單ニ普通ニ低物價政策デ是ガ事變
前ノ相場ニ回復スルト云フコトハ、中々容
易ニ考ヘラレナイノデアリマシテ、此ノ問
題ニ付キマシテハ、餘程慎重ナル考ヲ以テ
ヤラナケレバ解決ハムヅカシイト存ジマス、
隨ヒマシテ之ニ對シテ如何ナル方法ヲ執ル
カト云フコトニ付キマシテハ、今此處デ申
上ガ兼ネマスケレドモ、兎モ角モ此ノ必需

資材ノ低下ヲ圖ルト云フコトニ付テハ、極
力努力ヲ致サナケレバナラスト考ヘテ居リ
マス、其ノ方法等ニ付キマシテハ、只今マ
ダ申上グル機會ニナツテ居リマセヌ
○吉植委員 只今ノ御答辯デハ満足致シ兼
ネマスノデ、モウ少シ突ツ込ンデ御尋シタ
イト思ヒマスガ、河野君ノ發言ヲ妨ゲテハ
相濟ミマセヌカラ、他ノ適當ナ機會ニ於テ
大臣ニ只今ノコトヲモウ少シ承リタイト思
ヒマス、私ノ質問ハ是デ終リマス
○田中委員長 河野君

○河野委員 極ク簡單ニ申上ゲマス、是ハ
非常ニ面倒ナ法律デアリマシテ、時間ガア
レバ十分大臣ノ頭ニ入レテ戴クヤウニ吾々
ノ意ノアル所ヲ申上ゲタイノデアリマス
ケレドモ、時間ガアリマセヌコトヲ甚ダ遺憾
ニ存ズルノデアリマス、要點ダケヲ申上ゲ
テ今後十分大臣ニ御考ヲ願ヒタイト思ヒマ
ス、御承知ノ通り、我國ノ製酪業ハ北海道
ヲ中心ニシテ非常ナ發達ヲ致シテ居リマス、
北海道ニ於キマシテハ、産業組合等ノ活動
ニ依リマシテ、生産カラ加工上ノ方面、販
賣マデ統制ガ取レテ、殆ド遺憾ナク進ンデ居
リマス、ソレト他ノ本州方面ノ製酪地帯、
乳牛地帯トノ間ニハ、是等ノ取引ノ實情、
製造過程等ニ於テ非常ナ進歩ノ違ヒガアリ

マスノデ、ソレヲ茲ニ取纏メテ一ツノ酪農
業調整法ト云フモノデ縛ツテ行ク所ニ、吾
等トシテハ色々ナ心配ガ生レテ來ルノデア
リマス、ソコデ本案ノ内容ニ付テ檢討致シ
テ見マスルニ、北海道ノ方面ヲ主トシテ考
ヘタ場合ニハ、此ノ法律ヲ以テ殆ド完全ニ
近イモノデアルト吾々ハ考ヘラレルノデア
リマス、所ガ籲ツテ本州ノ千葉、神奈川、
静岡、兵庫其ノ他ノ各乳牛地帯ノ方面カラ
考ヘテ見マスルト、ドウシテモ本法施行後
ニ於テハ製酪業者ノ實力ガ強クナツテ、農
家即チ生産者ノ方面ニ團體力ガ弱メラレル
ト云フコトノ懸念ガ非常ニ多イノデアリマ
ス、即チ北海道ニ於キマシテハ先程申上ゲ
マシタヤウニ、非常ニ完全ナル組合統制ノ
下ニ牛乳ノ生産カラ販賣處理ガ行ハレテ居
リマス、ソレト一般ノ業者トノ間ヲ斯ウ云フ
法律ニ依ツテ益、協調ヲ保ツテ行クコトニシ
マスレバ、我國ノ酪農業ノ爲ニ非常ニ結構
ナコトデアルト思ヒマスケレドモ、今申上
ガタ通り、其ノ他ノ地方ニ於テハ何様販賣
過程ニ於テモ、生産過程ニ於テモ、色々複
雜且ツ遺憾ナ點ガ非常ニ多イノデアリマス
カラ、斯ウ云フ法律一本ヲ以テ直チニ全國
ヲ一律平等ニ見テ運用サレル所ニ無理ガア
リハシナイカト云フコトヲ、吾々ハ憂慮ス

ル者デアリマス、之ニ對スル大臣ノ御考ヲ
簡單デ結構デアリマスカラ御伺致シマス
○櫻内國務大臣 河野君ノ御心配ノ點ハ、
一寸サウ感ゼラレル點ガナイデモナイノデ
アリマス、併シナガラ御承知ノ通り、是ハ生
産業者ノ立場ト製酪業者ノ立場ト、雙方ヲ
協調セシメテ行クヤウニ出來テ居ルノデア
リマシテ、一方ガ乳ヲ集メル場合ニ、生産
者ガ賣ラスト言ヘバ値ガ高クナリマスシ、
又製酪業者ガ乳ヲ集メル時ニ、一方ガ安ク
賣ラナケレバナラスト場合ガアル、斯ウ云フ
コトモアリマスケレドモ、要スルニ酪農協
議會ノ力ニ依ツテ、殊ニ其ノ價格ノ如キモ
政府監督ノ下ニ、一定ノ公正ナ料金デ賣買
サセルコトニスルノデアリマスガ故ニ、生
産者ニ利益ニナツテ、酪農業者ニ不利益ニ
ナルトカ、或ハ酪農業者ガ利益ニナツテ、
生産者ガ不利益ニナルトカ云フコトノナイ
ヤウニ致シタイト云フノガ、法ノ精神ニナ
ツテ居ルノデアリマス、御心配ノ點ハ監督
ノ宜シキヲ得サヘスレバ適當ニ行クノデハ
ナイカ、斯ウ思ツテ居ルノデアリマス
○河野委員 甚ダ失禮ナ申分デスガ、大臣
ノ今ノ御話ノヤウニハナリ兼ネル點ガアル
ノデアリマス、ト申シマスノハ、御承知ノ
通り米ナドナラバコチラノ思フ値デ買ハナ

ケレバ、藏ツテ置クコトモ出來マスケレドモ、牛乳デアリマスカラ藏ツテ置キヤウガアリマセヌ、北海道ノ如ク生産者ガ自ラ組合ヲ作ツテ、之ヲ加工スルコトガ出來ルヤウニナツテ居リマスレバ、自ラソレヲ「バター」ニ作り、「チーズ」ニ作ルコトモ出來ル、製造業者トノ間ニ其ノ關係ガ旨ク協調出來ナケレバ、サウ云フ方法モ出來ルノデアリマスケレドモ、何様只今申上ゲマシタ地方ニ於キマシテハ、絞ツタ牛乳ハ早く賣ラナケレバナラス、是ハ數時間ヲ經過スルコトニ依ツテ細菌ノ數ガ殖エルシ、乳質ガ變化致シマスノデ、サウ云フ譯ニハ參ラヌノデアリマス、農家自身ガ北海道ノヤウニ團體的力ヲ持ツテ居リマスレバ、サウ云フ點ニ付テハ雙方ニ力ガ平等ニアルコトニナルノデアリマスケレドモ、サウハ參ラヌ點ガアル、サウ云フ事情ハ今マデモ同ジデハナイカト云フ議論ニナリマスケレドモ、今回酪農業組合ガ出來ルコトニ依ツテ、本法運用ノ妙ヲ得ルコトハ——即チ此ノ方面ノ亂レテ居ル靜岡縣ニ例ヲ取リマスレバ、靜岡縣ノ如ク工場ガ濫立シテ居ルコトハ何ト云ツテモ宜シクナイノデアルカラ、本法ニ依ツテ工場ノ濫立ヲ調整スルコトガ國家的ニ必要ナコトデアルシ、恐ラク是ハ調

整サレルデセウ、ソレガ調整サレマス、買手ハ調整サレテ、賣ル方ニ付テハ何等力ガ與ヘラレヌコトニナリマスノデ、ソコニ不均衡ガ起ツテ來ルト私ハ思フ、今ノ御話ニ法律デ云々ト云フコトガアリマスケレドモ、決メテ値段デ業者ニ買ヘト云フ規定ハナイ、如何ニ此ノ法律ヲ運用致シマシテモ、此ノ値段ガ出來タカラ、此ノ値段デ買ツテヤレト云フ規定ハナイ、ソコニ私ハ一ツ御考ヲ願ハナケレバナラス點ガアルノデハナイカト思フノデアリマスガ、重ネテ御所見ヲ伺ヒマス

○櫻内國務大臣 要シマスルニ、從來放任サレテ居ツテ、生産者ノ少イ處ニ工場ガ二ツモ三ツモ出來テ競争スレバ高クナリ、又生産者ガ澤山アツテ、酪農業者ガ少イ場合ニ於テハ自然安クナル、サウシテ自由ニ死命ヲ制セラレタノデアリマスケレドモ、此ノ度ハソレヲ統制致シマシテ、此ノ價格ニ付キマシテモ、適當ナ價格ヲ定メテ賣買ヲサセルノデアリマスカラ、其ノ間ガ圓滿ニ行クダラウト考ヘテ居リマス

○河野委員 私も從來ヤツテ居リマスコトガ宜シイトハ考ヘテ居リマセヌ、何トカシナケレバナラス、斯ウ云フ法律ノ必要ナコトモ認メテ居ルノデアリマス、ソレハ何ト

カ改善シテ、我國酪農業ノ發達ニ資サナケレバナラスコトニ付テハ、全ク大臣ト同意見デアリマス、酪農業組合ヲ御作りニナルコトモ結構デアリマスガ、併シ一方生産者ト製酪業者ノ兩方ヲ共々ニ引立ツテヤリ、是カラ増産計畫ヲヤラウド云フ後進地ヲ段々發達サセルニ付テモ、又大イニ之ニ對シテ力ヲ與ヘテヤルヤウニシナケレバナナルマイト思ヒマス、是ハ事務當局トモ色々問答シタノデアリマスガ、値段ヲ決メテモ其ノ値段デ製造業者ニ買ヘト云フコトハ命令デハ出來ヌノデアリマス、買フ買ハヌハ製造業者ノ勝手デアリマス、一方搾ツタ方ハ牛乳デアリマスカラ、何シロ賣ラナケレバ駄目ニナツテシマフ、ソコデ工場ノ統制、調整ヲヤツテモ、其ノ工場ガ其ノ値段デハ私ノ所ハ御免ヲ被リマスと言ヘバ、是ハドウモ如何トモ仕様ガナイ、之ヲ他ヘ持ツテ行ツテト云フ譯ニハ參リマセヌ、サウ云フ場合ニハ私ハ困ルト思フノデアリマス、ソコヲ何トカー一ツ御考慮ヲ願ハナケレバナナルマイト思フノデアリマスガ、如何デスカ

○櫻内國務大臣 只今河野君ノ御話ノ如ク、酪農業者ニ向ツテ、其ノ生産シタモノヲ無理ニ幾ラデ買ヘト云フ命令ハ、本法デハ出來ナイノデアリマス、併シナガラ若シ酪農

業者ニシテ左様ナル態度ニ出デマシタ時、之ニ對シテハ適當ナ取締ノ方法モアル譯デアリマシテ、其ノ間圓滿ナル協調ガ出來ルヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス

○河野委員 大變結構ナ御答辯デス、時間ガナクテ甚ダ遺憾デアリマスガ、大臣カラモウ一步進ンデ御決心ヲ承レバ結構デアリマス、モウ一ツ大臣ノ御認識ヲ得テ置キタイコトハ、元々此ノ法律ヲ作リマス時ニ、斯ウ云フコトガ別ノ意味デ必要性ガアツタラウト思フ、ト申シマスノハ製酪品ノ海外輸出ヲシナケレバナラス、「バター」其ノ他乳製品ノ輸出ヲシナケレバナラス、其ノ輸出ヲスル爲ニ茲ニ製酪業組合ヲ作ツテ、輸出統制ヲヤル、販賣統制ヲヤルト云フ、官廳ト製酪業組合トガ一體トナツテ、此ノ輸出ノ増進ヲヤルコトガ、此ノ法律制定ノ相當大キナ目的ノ一ツニナツテ居ルト思フノデアリマス、是モ亦吾々結構ダト考ヘマス、所ガ輸出統制ヲヤル爲ニハ、値段ヲ安クシナケレバ輸出ガ出來ナイ、ソコデ値段ヲ安クシナケレバ輸出ガ出來ナイト云フ一方ノ要素ト、片方内地デ生産シタ牛乳ヲ一體幾ラデ買フカト云フ問題ト、此ノ二ツガ絡ミ合ツテ相談サレルノガ製酪業組合ダト私ハ思フ、此ノ組合ガ相談シテ、内地ノ牛乳ハ幾

ラデ買フコトニシヨウ、サウシナケレバ海外ニハ此ノ値デハ賣レマセヌト云フ、其ノ相談ノ中ニハ無論オ役人サンモ入ラレル、又當事者ガ農林省ノオ役人サンノ所ニ來テ、「バター」ハ幾ラデナケレバ海外へ賣レナイカラ幾ラデ販賣致シマス、其ノ代リ幾ラデナケレバ牛乳ハ買ヘマセヌト同時ニ言ハレルコトハ當然デアリマス、サウスルト今御話ノヤウニ、一方生産者ノ方面ハ其ノ相談ノ中ニハ一ツモ入ラス、サウシテ農林省ノオ役人サント相談サレタ話ヲ持ツテ來テ押付ケラレルノガ生産者デアリマス、ソコニ無理ガ起リハシナイカト私ハ思フノデアリマスガ、此ノ點如何デアリマスカ

○櫻内國務大臣 生産者ガ價格協定ノ協議會ニ入ラスト云フ風ナ御話デアリマスガ、酪農中央協議會ノ構成ニ、牛乳生産者ノ代表者、製酪業者及ビ飲用乳販賣業者ノ代表、其ノ他學識經驗者及ビ官廳ノ官吏、斯ウ云フモノヲ入レマシテ中央協議會ヲ作りマストデ、生産者ノ代表モ入ルノデアリマスカラ、私ハ適正ナル價格ガ出來ルグラウト思フノデアリマス

○河野委員 ソレハ今大臣ノ御話ノ通りニ、サウ云フ酪農中央協議會、酪農地方協議會ノアルコトハ私モ了承致シテ居リマス、

所ガ大臣モ亦別ニ御承知ノ通り、例ヘバ肥料ニ關シマシテモ肥料委員會ガアリ、其ノ他ノモノニ致シマシテモ委員會ト云フモノハ作りマス、作りマスケレドモ、サウ云フ風ナ委員會ニ入ツテ一體相談サレ、諮問ヲサレテ、サウシテ運用ガ出來ルモノカドウカ、恰モ硫酸ナラ硫酸、加里ナラ加里、過燐酸ナラ過燐酸ノ協議會ガアルガ、サウ云フ風ニ無方針デアルノデハ、恰モ製酪業組合ガアリマシテ、此ノ業者ノ組合デ色々サウ云フ風ナ運用ノ中心ハヤツテ行ク、時刻々進ムノガ主體デアリマシテ、此ノ方面ガ明文的ニハ斯ウ云フヤウニアリマスケレドモ、是デ片付ケラレテハ生産者ト今申シマス購買者ノ間ノ完全ナル連絡ガ取レ、同時ニ今大臣ノ言ハレルヤウナコトガ出來ルカドウカト云フコトハ非常ニ疑問デアリマス、大臣ハ御急ギノヤウデ甚ダ私モ困ルノデアリマスガ、是ハ重大ナ事デアリマス、大臣ノヤウナ政黨出身ノ人ガ居ラレルカラ宜イノデアリマスガ……

○田中委員長 大臣ハモウ一度出席サレルト仰シヤツテ居リマス

○河野委員 ソレデハサウ云フ風ニ願ヒマス、吾々ハ大臣ノヤウナ政黨出身デ、相對シテ話ノ出來ル人ガ居ラレル方ガ宜イ、所

ガサウデナイ人ガ出テ來ルト、勝手ナコトヲ言ツテ、ドン／＼持ツテ行ツテシマフ、例ヘバ前ノ有馬農林大臣ノヤウニ、肥料ノ委員會ニ持ツテ行ツテ肥料ノ割當ヲ掛ケズニ肥料業法ヲアルト云フヤウナ大臣モ出テ來ルノデアリマス、ドウシテモ吾々ハ此ノ點十分ヤツテ置カナケレバイカヌト考ヘテ居ル、甚ダ憂ヘテ居ルノデアリマス

○櫻内國務大臣 十分御説ヲ承リタイト思ヒマス、必ズ参リマスカラドウゾ……

○田中委員長 小田君、サウ云フ譯デアリマスカラドウゾ次ノ機會ニ御願シマス……

松尾君

○松尾委員 私ハ此ノ前質問致シマシタノデ、モウ大シタ事ハ殘ツテ居リマセヌノデ、極メテ簡單ニ政府委員ニ御尋シテ見タイト思ヒマス、政府カラ御示ニナリマシタ「施行命令ニ規定スベキ主ナル事項」ト云フ中ヲ拜見シマス、法第五條ノ勅令ノ中ニ「煉乳、粉乳、及「バター」トスルコト」トナツテ居リマスガ、之ニ付テハ、他ノ委員諸君ノ質問ニ依リマシテ他ノ「チーズ」トカ「クリーム」トカ、或ハ「カルピス」ノヤウナ飲料水ト云フヤウナモノヲ追々入レル積リダト云フ御答辯デアツタサウデアリマスガ、是モ同時ニ煉乳、粉乳、「バター」ト一緒ニ命令デ定メ

ルコトガ出來ナイモノカドウカ、此ノ點ヲ一ツ承ツテ置キタイト思ヒマス、同ジク其ノ事項ノ中ニ「左ニ掲ゲル製酪業ハ法第五條ノ許可ヲ要セザルモノトスルコト」ノ中ニ「バター」ニ付テハ年産能力一定數量以下ノモノト云フコトニナツテ居リマスガ、其ノ數量ニ付テ御示シ願ヘレバ結構ダト思ヒマス

○岸政府委員 只今ノ御尋ノ第五條中ノ勅令ヲ以テ定メル乳製品ノ種類ト云フモノニ、煉乳、粉乳、「バター」以外ノモノヲ加ヘ

ルカト云フ御話デアリマシタガ、是レ以外ノ大キナモノト申シマス「カゼイン」乳糖デアラウト思フノデアリマスガ、是等「カゼイン」乳糖ダケヲ生産者スルコトハ中々困難デアリマス、隨ヒマシテ大體此ノ三種ニ付テヤツテ行キタイ、斯ウ考ヘテ居リマス、其ノ他ノモノニ付テハ追テ之ヲ研究シテ加ヘタイト思ツテ居リマス、更ニ同五條中ノ五ノ中ノ「バター」ニ付テドノ位ノ能力ヲ考ヘルカト言ヒマス、是ハ大體地方ニ於ケル酪農業ノ發生過程ニ於キマシテ、極ク少數ノ「バター」ヲ作ツテ居ルモノ、一年ノ生産量二千五百封度位ノモノ以下ト限ツテヤツテ行キタイト思ヒマスガ、是ハ更ニ研究スル必要ハアルト思ツテ居リマス

○松尾委員 其ノ次ニ御聽シタイノハ、從

來農林省ニ於キマシテ「バター」等ニ付テハ相當ニ助成セラレテ居リマスガ、此ノ「チーズ」ノ製造ニ付テハ何等ノ助成ガナカツタノデアリマスガ、此ノ「チーズ」モ追々北海道酪聯ノ如キモノノ研究等ニ依リマシテ、其ノ製造高モ多クナリ、將來ハヤハリ外國ニモ向フヤウニナル日モ來ルドラウト思ヒマスガ、之ニ對シテ農林當局トシテ助成ノ方法ヲ御考ニナツテ居ルカドウカラ御聽シテ置キタイト思ヒマス

○岸政府委員 「チーズ」ノ助成ノ點デアリマスガ、積極的ニ「チーズ」ヲ増産スルベク助成スルト云フコトハ今致シテ居リマセヌガ、現在ノ規定ノ中ニモ是ガ爲シ得ル途ハ開イテアリマス

○松尾委員 爲シ得ル途ダケガ開イテアツテモ、實際ニサレテ居リマセヌガ、將來サレル御方針カドウカト云フコトヲ承リタカツタノデアリマスガ……

○岸政府委員 只今ノ所デハ他ノモノノ方ノ希望ガ多イノデアリマスシ、又其ノモノノ方ガ販路モ廣イノデアリマシテ、其ノ方ヲ助成シテ參ル必要ガアレバ更ニ助成シテ行ク考デアリマス

○松尾委員 最後ニ一ツ御聽シタイノハ獸醫師ノ問題デアリマスガ、御承知ノ如ク獸

醫師法ガ改正サレマシテ、專門學校若クハ大學以上ノ課程ヲ了ヘタモノデナケレバ獸醫師ニ成レナイト云フコトニナツテシマツタ關係上、北海道ノ如キ牛馬ノ非常ニ多イ地方ニ於テハ、從來甲種農學校ニ獸醫師科ガアツタノガモウ役ニ立タナイヤウナコトニナリ、同時ニ事變ノ爲ニ獸醫師ガ非常ニ澤山ノ數ガ應召サレテ居リマス、サウ云ツタヤウナ關係デ獸醫師ニ不足ヲ告ゲテ、此ノ畜産業方面ニ大變支障ヲ來シテ居ルヤウナ狀況デゴザイマスノデ、北海道ト致シマシテハ、道廳當局ニ於テハ地方費ヲ以テ道廳立ノ農學校ニ獸醫師科ヲ設ケルト云フヤウナ考ヲ持ツテ居ツタヤウデアリマスケレドモ、最近政府ノ指示ニ依ツテ豫算ノ編成ガ相當ニ緊縮ヲ命ゼラレテシマツタノデ、之ヲ増額追加シテ此ノ設備ヲ爲スト云フコトニ付テ、目下道廳長官ハ躊躇シテ居リマス、併シ是ハ一方ニ於キマシテ此ノ畜産ノ増殖ト云フコトガ一ツノ國策デモアル以上ハ、獸醫師ノ不足ト云フコトガ非常ニ其ノ業ノ發展ノ上ニ支障ヲ來スノデアルカラ、是非北海道廳ガ最初決定シタヤウニヤツテ貫ヒタイト云フコトヲ吾々ハ要求シテ居ルノデスガ、何セイ豫算ノ緊縮ヲ政府カラ命ゼラレタノデ出來ナイト云フテ、今長官

ハ躊躇シテ居リマスガ、是等ノ如キニ付キマシテ、文部當局トシテハ勿論此ノ道廳ノヤル方針ニ付テハ非常ニ賛意ヲ表シテ居ルヤウデスケレドモ、今申シタヤウナ狀況デ、北海道廳トシテ中々内務省方面ニ氣兼ねラシテヤリ兼ねテ居ルヤウデゴザイマスガ、此ノ點ニ付テ一ツ農林省ト致シマシテ、是ハ一ツノ國策デアアル、所謂生産擴充ノ一ツ

デアルカラヤレト云フ風ニ、地方長官ヲ一ツ督勵シテ戴クコトガ非常ニ效果的ノヤウニ考ヘラレマスガ、ソレダケノ御盡力ヲシテ戴クコトガ出來ルカドウカラ御聽シテ見タイト思フノデアリマス、實ハ是非御願シタイト思フノデアリマス

○岸政府委員 今松尾サンノ御尋ニナツテ居ラレルノハ中等程度ノ獸醫學校デスカ

○松尾委員 獸醫師ノ資格ヲ得ル程度ノ所謂專門學校デスネ、ソレヲ北海道廳立ノ農學校ニ附設シヨウト道廳ガ案ヲ立テタノデアリマス

○岸政府委員 獸醫師ノ數ガ足りナイト云フコトニ付テハ色々ナ機會ニ於テ御質問ヲ受ケテ居ルノデアリマス、之ニ對シテ獸醫ノ新シイ制度ニ依ル所ノ獸醫資格ヲ有ツタ者ノ養成ニ付テハ、文部當局ト連絡ヲ致シマシテ順次高等專門學校モ建テテ居ルヤウ

ナ次第デアリマス、只今ノ問題ニ付キマシテモ文部當局ト連絡ヲ致シテ獸醫養成ノ出來得ルヤウナコトニ努力シタイト考ヘテ居リマス

○松尾委員 其ノ點ニ付テモツト申上ゲテ置キマスガ、今申シマシタヤウニ北海道廳トシテハ實ハ昭和十四年ノ新學期カラ道内ノ廳立農學校二校ニ附設スルコトヲ決定シテ居ルノデアリマスケレドモ、ソレヲ豫算ノ増額ト云フコトニ付テ内務省方面ニ氣兼ねラシテヤリ得ナイデ居リマスカラ、ドウカ其ノ點ヲ一ツ適當ナ機會ニ文部省ナリ北海道長官ニ對シテ御勸メヲ願ヒタイト思フノデアリマス、此ノ段御願シテ是デ私ノ質問ハ終リマス

○田中委員長 河野君

○河野委員 一寸簡單ナコトヲ御尋致シマス、今頂戴シマシタ資料ノ中デ輸入配給手數料ト云フノガアリマスガ、此ノ産業組合關係ノ全購聯及ビ道府縣聯手數料十一錢、單位組合十四錢、此ノ手數料ハ他ノ肥料其ノ他ノ取扱手數料トドウ云フ比率ニナツテ居リマスカ、御調ガアツテ之ヲ御決メニナツタモノデアラナラバ御示ヲ願ヒマス

○岸政府委員 此ノ手數料ハ先日一寸申上ゲマシタガ、内容ハ茲ニ御示シタ通りデア

リマシテ、肥料ト比ベマス少シク高いノ
デアリマスガ、何分ニモ嵩ノ多イモノデア
リマス、ソレカラ時ニ腐ルト云ツタヤウナ
コトモ起キテ來マスシ、其ノ他ノ關係ガア
リマスノデ、餘裕ヲ見テ考ヘテ、サウシテ
向フノ申出ヲ認容シタ譯デアリマス、尙ホ
是等ニ付テハ安ケレバ安イ程宜イノデアリ
マス、十分ニ研究シテ成ベク是等ノ經費ガ
下ルヤウニ努力シタイト思ツテ居リマス

○河野委員 更ニ御尋シマスガ、業者ノ方
ノ卸商ト云フモノガ十二錢トアリマスガ、
全國ニ卸商ハ何人位指定シテアルノデスカ、
ソレヲ一ツ伺ヒマス

○岸政府委員 一寸表ヲ持ツテ來テ居リマ
セヌ、表ヲ差上ゲテモ結構ダト思ヒマス、
從來ノ配給ヲシテ居ルモノハ六七十人居ル
ト思ウテ居リマス、是ハ調バツタモノデア
リマスガ、此處ニ持ツテ來テ居リマセヌ

○河野委員 サウシマスストソレニ對スル割
當ハ、一體從來ノ實績ヲ基礎ニシテ割當テ
テ居ルノカ、適當ニ申出ニ對シテヤツテ居
ルノカ、如何デアリマスカト云フコトヲ御
伺スルト同時ニ、斯ウ云フコトハ足リナイ
モノヲ分ケテアルノデアリマスカラ、又當
局ノ此處等ニ書イテアルノヲ見マシテモ、
過去ノ實績ヲ基準ニシテヤラセテオイデノ

コトト考ヘマスガ、其ノ點ハドウナツテ居
リマスカ

○岸政府委員 勿論過去ノ實績デヤツテ居
リマスガ、配給ヲシテ居ル者ガ組合ヲ作り
マシテ、其ノ組合ニ於テ自治的ニ實績割當
ヲヤツテ居ル譯デアリマス

○河野委員 其ノ際ニ政府ハ無論監督シテ
オヤリガラウト思フ、自治的ニヤラセルコ
トハ結構ダガ、自治的ニヤツタモノガ不公
正デアレバ、政府ノ意圖ニ反スレバ、之ヲ
監督サレルコトガ當然ダト思フ、所ガ其ノ
場合ニ一體方針トシテハ過去ノ實績ニ依ツ
テ自治的ニ割當スルヤウニサセテオイデ
ニナルカナラスカ、乃至ハ肥料ノ配給ノヤ
ウニ上カラ是等ニ過去ノ實績ニ依ツテ割當
テルヤウニシテ居ラレルカドウカ、此ノ點
ヲ御尋シタイトデアリマス

○岸政府委員 是ハ今ノ組合ノ方カラノ申
出ヲ見テ、内容ヲ調査スレバ宜イノデアリ
マスガ、マダソレマデ手ガ届イテ居リマセ
ヌ、併シ追々ハサウ云フ風ニ致シタイト思
ウテ居リマス

○河野委員 サウシマススト近キ將來ニ於テ
過去ノ實績ヲ十分檢討シテ、ソレニ基イテ
割當ヲシテヤルト云フノデスネ、私ガナゼ
斯ウ云フコトヲ申上ゲルカト申シマス、

私ノ方ノ神奈川縣ニ入ツテ來マス麴ヲ關西
ニ行ツテ買ハナケレバ買ヘナイノデス、斯
ウ云フ馬鹿々々シイモノハナイ、横濱ニ水
揚ゲシタモノヲ吾々ノ所ニ持ツテ參リマス
レバ當然安ク入りマス、所ガ關東ニハ麴ガ
アリマセヌ、西ニ行ケバアルト云フ馬鹿馬
鹿シイ實情ニナツテ居リマスノデ、私ハ之
ヲ申上ゲルノデアリマスカラ、當局モソレ
等ノ點ヲ無暗ニ變ナ目デ見タリ、虐メルヤ
ウニ御考ニナラズニ、公正ニヤツテ貫ヒタ
イ、ソレハ監督ガ足ラナイノカ、業者ガ不
公平ナノカ、何レニシテモ事實ヲ枉ゲテヤ
ツテオイデニナルカヲ言フノデハゴザイ
マセスケレドモ、當局ノ意思ガソコニアリ、
ソレガ手ガ届カスト云フコトデアラナラバ、
速ニオヤリニナリマセヌト、前ニ申上ゲタ
ヤウニ小賣相場ハ六圓五十錢ト云フ風ニ私
ハ伺ツテ歸ツテ來タ、所ガ實際賣ルモノハ
六圓十五錢ト云フコトヲ聞イテ居リマス、
斯ウ云フヤウナ馬鹿々々シイ相場ガアリマ
シタカラ、政府ガ向フカラ持ツテ來ル相場
ハ此處ニ表ヲ戴イタ通り減茶苦茶ニ安イ相
場デ來テ居ル、ソレガ今日牛乳ガ賣レナイ
ト云フノデ麴ノ相場ガソナニ高い、而モ
中間ノ手数料ハ高過ギマスガ、硫安、過燐
酸ニ比ベテコンナ手数料ヲ與ヘテ居ルモノ

ハアリマセヌ、産業組合關係ニ於テモコン
ナ馬鹿々々シイ手数料ハ高過ギル、全購聯、
縣購聯ガ十二錢モ取ルノハ高過ギル、直グ
訂正サセルガ宜シイ、卸商ガ十二錢モ取ル
ナドト云フ馬鹿々々シイ手数料ハナイト思
フ、政府ガ持ツテ來テ配給シテ居ル麴一俵
ニ付テ十二錢モ取ルトハ餘リ監督ガ怠慢デ
アル、速ニ半分以下ニ下ゲテ然ルベキモノ
ト思フ、此ノ點ハ當局ニ於テ善處セラレン
コトヲ望ミマス、尙ホ此ノ機會ニ御答辯ガ
アレバ承ツテ次ニ移リタイト思ヒマス

○岸政府委員 麴ノ配給ニ付テモ他ノ飼料
ノ配給ニ付テモ、今ヤツテ居ル生産力擴充
其ノ他ト睨ミ合セマシテ、大體地方各縣ニ照
會シマシテ、地方デドノ位要ルカラ頭ニ置
イテ、將來ノ配給ニ付テモ十分考慮シヨウ
ト思ツテ居リマス、今ノ所飼料配給ニ付
テノ技術員ノ調査ガ全部完成シテ居リマス
ガ、ソレ等ガ出來レバ手数料ニ付テハ十分
研究シテ見タイト思ヒマス

○河野委員 今ノ局長ノ御答辯結構デアリ
マスガ、大體政府ガヤラレル仕事ガ餘リニ
杓子定規ニ過ギテ居ル、何モ地方ニ技術員
ヲヤルトカ、地方デ調べタカ仰シヤラヌ
デモ、經驗ノオアリノ人ガ神奈川縣ニハ牛
ガ何頭、何處ノ縣ニハ牛ガ何頭、豚ガ何頭、

ドノ位ノモノヲ食ツテ幾ラト云フ大摺ミノ所ハ見當ガ付クト思フ、大摺ミノ所ヲ早クヤレバ宜イト思フ、此ノ際速主議ヲ私ハ要望スル、ソレヲ色々細カニヤツテ居ルカラ手モ足モ出ナクナツテ、彼處ニ障礙ガ出來タ、此處ニ障礙ガ出來タト云フコトニナツテ旨ク行カナイト思フ

此ノ機會ニ更ニモウ一點之ニ關聯シテ極ク簡單ニ伺ヒマスガ、實ハ一兩日中ニ同僚ノ立川君ト一緒ニ家畜、養雞飼料ノ配給取締法規ヲ作ルヤウニ吾々ハ建議案ヲ出ス積リデ今準備中デアリマスガ、吾々ガ伺フ所ニ依リマス、今回當局ハ配合飼料ニ付テ業者トノ間ニ價額ヲ決メルコトニ付テ御乗出シニナツテ居ラレト云フコトデアリマス、度々伺フノハ面倒ダカラ一遍ニ申上ゲマスガ、實ハ包米ノ價格ニ對シテ乃至ハ此ノ配合飼料ノ原料ノ最高ナルモノニ對シテ、ソレニ對スル一圓ノ幅ヲ付ケタモノデ三種配合ヲ賣ツテモ宜イト云フヤウニ御決メニナツタサウデスガ、其ノ一圓ト云フノハドウ云フ基準カラ出テ來タカ、私達ノ算盤デハ一圓ト云フヤウナ馬鹿々々シイ値開キヲ認メルト云フコトハ、寧ロ當局ガ乗出シテ却テ高クスルヤウナモノデアル、放ツトケバモツト安クナルト思フ、過去ニ於テ、平

生ノ場合ニ於テ一圓ト云フヤウナ相場ガ一體アツタカドウカ、恐ラク過去ノ御調べニ依レバ一圓ト云フヤウナ値開キハナカツタト私ハ諒承シテ居ル、飼料配給會社ガ出來テカラ後ハ別デアリマス、私ハ甚ダ此ノ席デ申上ゲルコトハ如何デアリマスケレドモ、先日私ノ地方ノ者ガ參リマシテ、ドウモ河野サンハ怪シカラス、去年ノ議會デ飼料配給會社ヲ作ルコトヲ大イニ心配サレタガ、アナタガア云フ會社ヲ作ツタ爲ニ非常ニ飼料ガ高クナツタ、而モ社長サンハ長瀬サント云ツテアナタノ友達ダサウダガ、サウ云フ人ガ社長ニナツテ一緒ニナツテヤツタカラ飼料ノ値ガ高クナツテ居ルガ、コンナコトハナイト言ツテエライ苦情ヲ食ツタ、ソレデ是ハアア云フ譯ダ、斯ウ云フ譯ダト云フヤウニ説明シタ、私ハ當局ニ苦情ヲ申ス譯デハアリマセスケレドモ、サウ云フヤウニ誤解シテ居ル農民サヘアル、是ハ當局ノ配給會社ノ監督ガ旨ク行ツテ居ラヌノデ、斯ノ如ク間違ツタ認識ヲ與ヘルノダ、相手ガ間違ツタ認識ヲ與ヘルノダカラ相手ガ惡イト云フコトダケデヤツテ居ラヌ、サウ云フ認識ヲ與ヘスヤウニコチラモ注意ヲシ、準備ヲシナケレバナラスト思フ、今申上ゲタ一圓ト云フモノハ一體安當カドウ

カ、配給會社ガ出來ル前ニ三種配合ニ於テ、包米ト三種配合ノ一圓ト云フ値開ギガアツタコトガアルノデスカ、恐ラクアルマイト思フ、最近ハ一圓五十錢開イテ居ル、二圓開イテ居ルト云フノデ、之ヲ一圓ニスルト云フ根據ガ何處ニアルカ、例ヘテ言ヘバ商工省ノ絹織物ニ對スルヤリ方ハ減茶ダト言ヘバ減茶デアリマスケレドモ、ヤルナラバ一定ノ基準ヲ以テヤラナケレバナラス、一體一圓ト云フノハ何處ヲ基準ニシテオヤリニナツタモノカ承ツテ見タイト思ヒマス

○岸政府委員 是ハ加工費其ノ他ヲ加ヘテ多分九十五錢デアツタト思ツテ居リマス、ソレヲ最高ニシテヤルト云フコトヲ認容シヨウト云フ譯ナノデアリマス、是ハ店ニ依ツテ非常ニ違ガアルノデアラウト思フノデアリマス、隨テ餘リ能率のデナイ所ハ或ハ加工料ガ餘計掛ツテ居ルカモ知レマセヌガ、兎ニ角色々ノ方面カラ研究シテ貰ツテ、サウシテ私共ノ方ノ技術關係デモ檢討シテ之ヲ最高ニシテ、サウシテアト能率のニヤレル所ハ勉強スル、斯ウ云フ考デヤツテ居ル譯デアリマス、勿論之ヲモツト安クスルト云フコトニ付テハ、仕事ノ能率ヲ上ゲルトカ、色々研究シテ貰ツテヤツテ行キタイト考ヘテ居リマス

○河野委員 私モ聞イテ居ラヌデアリマセヌ、九十五錢ト云フモノガ何處デ調べテドウ云フ風ニヤツタト云フコトハ伺ツタ、所ガサウ云フ風ニ或ルモノガ九十五錢掛ルト言ヘバ九十五錢、一圓掛ルト言ヘバ一圓ト云フコトハ間違ツテ居リハセヌカト思フ、今マデ飼料配給會社ノ出來ル以前ニハ包米ト三種配合ノ値開キハドウ云フ趨勢ヲ辿ツテ來タカト云フコトヲ御調ニナツテ見レバ直グ分ルコトデアリマス、過去ニ於テドウ云フ算盤デアツタカ、今マデ一番高カツタ時ニ七十錢位、安イ時ハ四十錢カラ四十五錢位ノ場合ガアル、是ガ方々ノ業者ニ聞イテ幅ヲ調べテ見タイ所デハ、大體四十五錢カラ五十錢ガ相當デアル、唯此ノ頃袋ノ値段ノ關係デ幾ラカ袋勘定ヲ貰ハナケレバナラスカラ、先ヅ六十錢カラ七十錢ノ間ガ適當デセウ、斯ウ言フ人多イ、所ガ折角當局ガ公定價格カ何カ知ラヌガ、此ノ程度デ賣レト云フコトデ努力サレタ其ノ數字ガ一圓ト云フヤウナ、未ダ曾テ斯ウ云フ風ナ馬鹿々々シイ算盤ハ出タコトガナイ、現在ガ相當高イカラト云ツテ、一體サウ云フ所ニ決メテ行ク數字の根據ガアツテオヤリニナルノカ、加工賃ガ幾ラ掛ルト云フ數字の根據ガアルナラバ結構デアル、加工賃

ヲ全部調べテオヤリニナツタト云フナラバ
是モ一ツノ見方アリマス、所ガ畜産局長
ハ其ノ點ノ御研究ガナイカモ知レマセヌ
ガ、私ガ調べタ所デハ配給會社ガ出來ル以
前ニ於テ、包米ト三種配合ノ値開キハ多イ
時デ七十錢、安イ時デ四十五錢位ガ相場デ
アリマス、是デ行クコトガ當リ前デアル、
平時ノ相場ヲ公定價格ニスルコトガ當リ前
デアル、是ガ常識デアル、ソレデ損スル譯
デモナイ、而モ一方ニ於テ渡ス包米ノ値段
ハ、配給會社ガ渡シタ値段ニ對シテ値開キ
ヲ幾ラカ持ツテ居ルト云フコトハチツトモ
惡イコトガナイ、而モ賃金ガ幾ラ掛ル、何
ガ幾ラ掛ルト云フコトヲ詳細ニ調べタモノ
ハアル、私ガ詳細ニ調べテ算盤ヲ入レテ見
タモノガ、能ク見テ七十錢アレバ十分デア
ル、少シ生産者ノ爲ニ勉メテヤラウト云フ
デラバ六十錢カ六十五錢デ結構行ク、ソレ
ヲ當局ガ一圓ト値開キヲ決メテ、サウシテ養
鶏業者ニ直渡シヲシテヤルト言フ、斯ウ云フ
風ナ觀念的ニ間違ツタコトニ對シテハ贊成
出來ヌ、一方ニ於テ勉ニ於テハ卸ハ十二錢、
小賣ハ十八錢ト云フコトヲ認メテ置キナガ
ラ、三種配合ハ七圓十五錢ト云フコトニ御
決メニナツテハ卸小賣ノ口錢ト云フモノガ
ナイ、サウ云フ間違ツタヤリ方ハ贊成出來

ヌ、製造業者ハ詰メル所ハウント詰メテヤ
ルガ宜イ、製造業者モ卸賣モ小賣モソレノ
配給過程ニ於テ皆ガ宜イヤウニ行クノガ當
リ前デアル、詰メル所ハ全部詰メルガ宜シ
イ、全部卸賣モ小賣モサウ云フモノハ抜イ
テモ宜シイ、全部ハ組合ナリ何ナリデ配
給サシタラ宜シイ、サウシテ製造業者ニダ
ケ一體一圓ト云フヤウナ口錢ヲ見テヤル理
由ト云フモノハ何處カラ生レテ來ルカ、自
ラニ大シタ……餘リ言葉ガ過ギルカモ知レ
マセスケレドモ、調査モナケレバ研究モナ
ケレバ程々ノ所デ、目分量業者トノ間ニ
取決メヲシテ、是デヤツテヤルト云フヤウ
ナコトヲオヤリニナルコトハ餘リニモ早
計デハナイカト思フ、是ハ畜産局長モ十
分ニソレ等ノ點ニ付テハ、色々各方面ニ
目ヲ配ラナケレバナラスコトハ多イカモ
知ラスケレドモ、十分ニ調べテ業者ノ意
見モ聞イテ、乃至ハ甚ダ僭越ナ申分デアル
カモ知レマセスケレドモ、及バズナガラ吾々
トテモ其ノ方面ニ付テハ相當ノ研究モア
レバ調査モアル、サウ云フ者ノ十分意見ヲ
聽イテヤツテ然ルベキデアルト私ハ思フ、
何等サウ云フ方面ニ對シ意見モ微サナケレ
バ意向モ質サナイ、サウシテドシノ官僚
ガオヤリニナルト云フコトハ、吾々斷然サ

ウ云フコトハ共鳴出來ヌノデアリマス、而
モソレガ吾々ガ能クヤツタト褒メルヤウナ
コトヲオヤリニナルナラバ結構ダケレドモ、
ヤルコトハ頓珍漢デ間違ツテ居ル、サウ云
フ馬鹿々々シイコトヲオヤリニナルカラ、
實ハ酪農法ニ付テモ若シモサウ云フコトヲ
ヤラレルト困ルト思フカラ、吾々ハ喧シク
此ノ機會ニ言フノデアリマス、局長ニサウ
云フコトヲ言フノハ甚ダ快シトシナイノデ
アリマススケレドモ、ドウモ局長ガ先日私ガ
言ツタヤウニ滿洲流ニ大擲ミデ、人ヲ見レ
バ皆善人ト思ツテ、間違ヒアルマイト云フ
エトデ大人ノ風ヲ以テ行政ノ運用ヲサレル
カラサウ云フ間違ガ起ル、官僚必ズシモ善
人デナイ、役人必ズシモ惡イ事ヲシナイト
ハ言ヘヌ、實例ヲ示セト云フナラバ敢テ其
ノ材料ニ苦シマナイ、是等ニ付テハ十分ナ
監督ト注意ヲシテ戴カナケレバ、ヤツテオ
居デノコトハ正シク行キマセヌ、サウ云フ
譯デアリマスカラ、斯ウ云フ言ヒニクイコ
トモ言フノデアリマススケレドモ、今ノ飼料
ノ問題ノ如キハ志ス所ハ吾々大イニ多トス
ル、志サレル所ハ吾々ハ大イニ共鳴スル、
併シ其ノ結果ニ於テ今申上ゲルヤウニ必ズ
シモ公正妥當ナル問題ナリヤ否ヤト云フコ
トニ付テハ、議論ノ餘地ガ十分ニアルト云

フコトヲ此ノ機會ニ申上ゲテ善處セラレン
コトヲ要望スルモノデアリマス、此ノ機會
ニ御所見ガアレバ承レバ大變結構デアリ
マス
○岸政府委員 今ノ加工費其ノ他ニ付テハ
私ノ方デモ取調ヲシテヤツタノデアリマス
ガ、色々御意見ノアリマシタ點ハ十分考ヘ
テ研究ヲシテ行キタイト思ヒマス
○河野委員 モウ一點附加ヘテ置キマス、私
ハ由來産業組合ノコトヲ言フノハ甚ダ快シ
トシマセヌカラ差控ヘテ居ルノデアリマス
ケレドモ、今ノ調査モ九十五錢ト云フノハ
何デモ聞ケバ全購聯デ九十五錢掛カルト言
ツタカラ、九十五錢ヲ基準トシタト云フコト
ヲ聞イテ居ル、所ガ全購聯ノ製造過程ガ安
イトハ申セヌ、全購聯、産業組合系統ハ配
給過程ニ於テハ最小限度ノ口錢デヤルコト
ガ出來ル、所ガ製造過程ニ於テ必ズシモ全
購聯ノ製品ガ非常ニ宜シクテ、工賃ガ非常
ニ安イト云フコトハ議論ノ點ガアル、デア
リマスルカラ是等ニ付テハ内容ニ付テ十分
檢討サレルガ宜シイ、何處デモ正シイ品物
ヲ安く造ルコトガ一番宜シイノデアリマス
カラ、ソレニ競争サセテ全購聯ニモ勉強サ
セルヤウニシナケレバ、本當ニ産業組合ヲ
愛スル所以デハナイ、發達サセル所以デハ

ナイト思フ、全購聯ガ九十五錢ト言フト、宜シイ「オーライ」ト云フ譯デ之ニ食付イテ行ク、之ニ基イテヤラレバ業者ハ喜ンデ居ル、是デヤ結構ダ、今マデ程儲カラスケレドモ結構ダト言ツテ居ル、併シソレデハ、生産者ガ満足スルモノデハナイト云フコトヲ今後ノ爲ニ一點附加ヘテ置クノデアリマス、何處マデモ勉強サセルコトニ致サナケレバナラヌト思フデアリマス、隨テ全購聯ニ幾ラ掛ルト言ツタナラバ九十五錢ダト言ツタカラ、ソレデ宜カラウト云フコトニシタト云フヤウナコトデハ、私ハマダ不十分デアルト思フ、モウ少シ各方面ニ調査セラレテ、諄イヤウデアリマスケレドモ私ガ申上ゲタヤウニ、過去ニ於テハソレデ賣買ガサレテ居ツタ、賣買サレテ居ツタ以上ハソレデ間ニ合ツテ居ツタト見テ差支ナイト思フノデアリマス、シテ見ルト其ノ程度ニ下ゲルコトガ當然デアリマセウ、全購聯モ其ノ程度マデ勉強サセルノガ當リ前デアリマス、速ニ六十五錢ナリ七十錢ニ御下ゲニナルガ宜シイ、若シ御入用ガアレバ別ノ機會ニ於テ私ハ何時デモ申上ゲルダケノ用意ガアル、ドウカ此ノ意味デ一般ノ行政ニ對シテモ善處サレンコトヲ御願シテ置キマス

○深澤委員 私ハ組合ニ關聯シテ居リマス、

又組合長ヲ致シテ居リマス、只今同僚ノ質問ノ中ニ、組合ハ配給過程ニ於テハ比較的良好イヤウダガ、其ノ他ニ付テハ云々ト云フ言葉ガアリマシタ、是ハ多クノ誤解ヲ招ク言葉ノヤウニ思ハレマスカラ、私ハ其ノ點ヲ御伺フスルコトヲ御許ヲ得タイト思ヒマス、製造過程ニ於テハ比較的高イト云フヤウナ御言葉ノヤウニ聞エマシタガ、其ノ點ヲ御聽シタイト思ヒマス

○田中委員長 河野君如何デス

○河野委員 是ハ惡イ先例ニナルカラ差控ヘタイノデスケレドモ、誤解ヲ招クコトヲ恐レマスカラ申上ゲマスガ、是ハ議會ノ先例ニハナラスヤウニ願ヒタイ、議員ノ發言ニ對シテ他ノ同僚カラ質問ヲ受ケルト云フコトハ、委員長ノ御計ヒデ許サヌヤウニ願ヒタイ、併シ誤解ヲ受ケルト云フ虞ガアリマスカラ申上ゲマス、今申上ゲルヤウニ三種配合ニ於テハ恐ラク間違ナイト思フガ、當局ノ調ベタノハ全購聯デ御取調ベニナツタモノト思フ、ソレガ九十五錢ト云フコトデアツタト思フ、ソコデ當局ハ全購聯デ九十五錢掛ルノダカラ全購聯並ニ一般ノ業者モ押ヘレバ間違ガナカラウト云フコトデ、九十五錢乃至一圓ト云フコトヲ御取決メニナツタモノト思フ、所ガ他ノ方面デ調

ベテ見ルトモツト安ク出來ル、乃至ハ私ガ諄イヤウデアリマスガ、今申上ゲルヤウニ、過去ニ於テハモツト安イ値段デ取引サレテ居ツタ、取引サレテ居ツタトスレバ安ク出來ルト云フコトガ言ヘルノデアリマス、ソコデ全購聯、産業組合關係ハ、配給過程ニ於テハ最大限度ノ最モ理想的ニ配給ガ出來ルノデアリマスケレドモ、製造過程、物資ノ購入ノ過程ニ於テハ尙ホマダ商人ニ比ベレバ商機ヲ擱ム點等ニ於テ遺憾ノ點モアルノハ當然デアリマス、是ハ産業組合ガ物ヲ買フノニ一番安價トハ言ヘヌ、商機ヲ擱ム點ニ於テ商人ガ安ク買フ場合モアルノデアリマス、ソレデアリマスカラ製造過程ニ於テハ尙且ツ能率ノ舉ル機械ヲ持つテ居ル所モアリマセウシ、色々ヤリ方ガ巧イ所モアリマセウシ、是ハ全購聯ハ配給ガ目的デアツテ何モ製造ガ目的デハナイノデアリマスカラ、ソコデ全購聯ダケデナシニ各方面ヲ研究サレルノガ宜カラウ、斯ウ申上ゲタノデアリマシテ、サウ御諒解願ヘレバ私ハ差支ナイト思ヒマス

○田中委員長 小田君

○小田委員 私ハ本案ガ農家ニ取ツテ重大ナ關聯ヲ持つ共ニ、今日戰時下ニ於ケル農家經濟ニ對シテ當局ガ眞剣ナ御檢討ヲシ、

其ノ對策ヲ御講ジニナリツツアルト云フ感ジヲ持つテ居ルノデアリマス、ソコデ吾々が現在最モ奇異ニ感ズルコトハ、此民族ノ一大戰爭ヲ進展シテ行クニ當ツテ、農村ハ大量ノ勤勞者ヲ戰線ニ捧ゲ、其ノ爲ニ勞力ノ大缺乏ヲ來シテ居リマス、又軍馬ヲ相當量徵發ヲ受ケテ、ソレニ畜牛ニ於テモ軍需其ノ他ノ方面ニ多數ノモノガ徵發ト申シマスカ、提供サレテ居ル、其ノ點カラモ畜力ノ一大不足ガ招來サレル、其ノ不足ノ總量ガ如何ナル比率ニ於テ起ツテ來テ居ルノカ私ハ知ラナイノデアリマスガ、現地ヲ見、又ハ農家ノ實情ヲ見マス、相當深刻ナモノガアルヤウデアリマス、然ラバ此ノ畜力ノ不足ニ對シテ、或ハ勞働力ノ不足ニ對シテ、畜產當局ハ如何ナル對策ヲ御持チニナツテ居ルカ、詰リソレハ農家經濟ニ對スル觀點ニ於テ何等カノ御方策ガアルナラバ承リタイト思ヒマス

○岸政府委員 事變以來家畜特ニ大家畜ノ頭類ガ減少ヲシタデアラウ、尙ホ澤山ノ應召者ガアル者ニ農業勞力ガ減退シタダラウ、ソレ等ニ對シテ何カ對策ガアルカト云フ御話デアリマスガ、牛ニ付キマシテハ馬ト異ナリマシテ、主トシテ經濟上ノ問題カラ異常ナ需要ガ起ツテ參リマシテ、屠殺頭數ノ

如キモ相當ニ殖エテ居ルノデアリマス、唯其ノ數字ハ一寸申上ダ兼ネマスガ、是ハ軍需民需共ニ殖エテ居リマス、幸ニ最近ニ於ケル所ノ衛生施設指導ノ充實等ニ依リマシテ、生産モ亦増加ラシテ居ルノデアリマシテ、昭和十二年ニ於テ相當軍需ノ需要ノアツタニ拘ラズ、頭數ガ増加シテ居ルヤウナ現狀デアリマス、恐ラク是等ノ實情ハ昨年ニ於テモ同様デアリハシナイカ、斯ウ想像シテ居リマス、十四年度以降ニ於キマシテハ今回ノ生産力擴充ニ依リマシテ生産頭數モ増加スルヤウニ致シマスジ、其ノ點農家ノ畜力ノ方面ニ對シテ其ノ資材ヲ提供シ得ルヤウニ考ヘマス、唯馬匹ノ徵發等ハ相當數ニモ上ツテ居リマスカラ、大家畜ノ牛馬ヲ寄セマス、過去ニ比ベマス、或ハ多少減ジテ居ルト云フコトモアリ得ルカモ知レマセズ、是等ノ勞力ノ問題ニ關シマシテハ畜力ノ利用獎勵方面ニ於キマシテ、畜力用具ノ共同利用ト云フヤウナモノヲ獎勵シテ、サウシテ畜力ガ經濟的ニ利用サレルヤウニヤツテ行キタイ、斯ウ考ヘテ居リマス、尙ホ地方ニ依リマシテ借牛借馬ノ制度ニ付キマシテ轉旋ノ勞ヲ執リマシテ、サウシテ其ノ借貸等ニ付キマシテ規正ヲ行ツテ、非常ニ一時高クナリマシタガ、其ノ値段ヲ引下

ゲテ之ヲ利用出來ルヤウニ努力シテ居ル地方モゴザイマス、ソレ等ニ付キマシテハ適當ニ指導ヲ與ヘテ行キマシテ、現在アリマス牛馬ノ畜力ガ適正ニ利用サレルヤウニシテ行キタイト考ヘテ居リマス

○小田委員 只今ノ御答辯ニ依リマス、畜牛ノ屠殺頭數ガ軍需民需共ニ増大シテ居ルト云フ御答辯デアリマスガ、私ノ承ル所ニ依リマス、軍需ノ方ハ或ハ殖エテ居ルカモ知レマセズガ、民需ニ於テハ相當程度ノ制限ヲ加ヘテ居ルヤウデアリマスガ、如何デアリマスカ

○岸政府委員 從來民需方面ノ不足ト云フモノハ、過日モ御話申上ダマシタヤウニ、全國内消費ノ一割八分位ガ輸入サレテ居ツタト思ヒマス、其ノ輸入ガ來ナクナツタノデアリマスカラ、其ノナミニ屠殺ガ増大サレルナラバ、是非常ナ多數ニナルト考ヘマス、幸ニ其ノ點ハ屠殺頭數ハ増加シテ居リマスケレドモ、從來ノ輸入肉ニ匹敵スル程ノ量ニハナツテ居ラナイ、デアリマスカラ其ノ點ニ於テ民間ニ需要サレル所ノ多數ノ屠殺頭數ハ豫想サレタヨリ遙ニ少クナツテ居ル、斯ウ云フ狀態ニナツテ居リマス

○小田委員 只今ノ御話ハ大體分ルノデアリマスガ、假ニ畜牛ノ方ニ於ケル所ノ屠殺頭數ガ生産頭數ヨリモ少イ、其ノ關係デ、畜牛ノ方ノ畜力ニ於テ農村ニ甚大ナ不足ヲ來スコトハナイヤウニ考ヘラレルノデアリマス、併シナガラ全般的ニ農村ノ畜力ヲ考ヘテ見マス、其ノ頭數ハ不明デアリマスケレドモ、馬匹ノ徵發ハ相當數量ダと思フノデアリマスガ、其ノ不足ニ對シテハ如何ニ御考ニナツテ居ルノデアリマスカ

○岸政府委員 其ノ點ハ先程一寸申上ダタノデスガ、言葉ガ足りナカウタト思ヒマス、馬ハ相當ニ徵發サレテ居リマスガ、牛ヲ合セマスレバ恐ラク其ノ總數ハ事變以前ヨリハ幾分減ジテ居ルダラウト思ヒマス、是等ニ對シマシテハ一部馬ノ代リニ牛ガ入ツテ居ル所モアルヤウニ聞イテ居リマス、併シ其ノ足りナイ部分ヲ補フト云フコトニ付キマシテハ、畜力用具ノ共同利用ト云ツタヤウナコトニ依リマシテ、家畜ノ共同利用ヲ圖ルト云フ方面ニ獎勵ヲ致シテ居リマス、サウ云フ方面デ補ヒガツイテ居ルダラウ、斯ウ思ツテ居リマス

○小田委員 現在正確ナ馬匹頭數ハ公表サレテ居ナイ爲ニ、吾々ハ的確ナコトハ申サレナイノデアリマスガ、當局ガ其ノ點減少ヲ來シテ居ルヤウニ御考ニナツテ居ナケレバ差支ナイコトと思フノデアリマスガ、只今

牛ノ方ノ屠殺ガ一割三分カ四分ノ程度制限ヲ受ケテ居ルコトハ事實ダと思フノデアリマス、若シモ總體ニ於テ不足ヲ來シテ居ルト考ヘラレナイノデアレバ、此ノ制限ト云フコトガ必要ナイコトニナルノデアリマス

○岸政府委員 勿論從來ノ事情等ヲ考ヘテ參リマスレバ、是ハ此ノ位ノ程度ノ節約ヲヤツテ行カケレバイケナイダラウト云フコトノ考ヘ方ヲシテ居ルノデアリマス、實際上ニ於キマシテハ、サウ云フコトガアルトナイトニ拘ラズ屠殺頭數ガ豫想ヨリ減ツテ居ル、デスカラ自發的ニソコニ節約ガ行ハレテ居ルト云フコトガ考ヘラレル、是ハ恐ラク消費サレル方ニ於テ自發的ニサウ云フ風ノ現象ガ生レテ來テ居ルダラウト思ツテ居リマス

○小田委員 私ハ此ノ屠殺ノ制限ト云フコトガ消費者ノ自發的ノ配慮ニ依ツテ齎ラサレタモノデアルトスルナラバ非常ニ感激致ス譯デアリマス、私思ヒマス、今日ノ事變ノ終局ノ目的ヲ達成スル爲ニハ、農村ノ持ツ役割ハ實ニ重大デアリマス、今後更ニ幾層倍力ノ犧牲ト努力ヲ農村ガ負ハナケレバナラヌカトモ思フノデアリマス、分ケテモ軍需工業ノ方面ニ對スル農村ノ勞力提供ト云フコトハ相當深刻ニ進ンデ居リマス、

其ノ土農村ノ生産機構ノ變化、或ハ今申シマシタヤウナ應召關係ナドヨリシテ、農村ハ相當ニ勞力或ハ其ノ他ニ於テ支障、變化ヲ來シテ居ルト思ヒマス、ソコニ持つテ來テ農村ニ於ケル生産用具トシテノ畜力不足ヲ來シテ居ル、勞力不足ノ所へ持つテ來テ、畜力ノ不足ガ相當表面化シテ居ル、此ノ時ニ當ツテ國民ノ自發的ナル、又無統制ナル制限ノミニ依ツテ、畜牛ノ屠殺ガ辛ウジテ制限サレテ居ル、其ノ位ノコトデ果シテ畜力ノ不足ガ補ヘルカドウカト云フコトヲ私ハ考ヘルノデアリマス、ソコデ私ハ此ノ際其ノ一割三四分ノ屠殺制限ガ自發的デアルカ強制的デアルカハ別トシテ、今後一層此ノ制限率ヲ強化スル必要ガアルト考ヘル、ト申シマスノハ、畜牛ヲ從前ト同様或ハソレニ近い程度屠殺スルコトハ、農村ノ勞力ヲソレダケ減少サセル所以ナリト考ヘルカラデアリマス、即チ是ハ物動計畫ノ基底ニマデ吾々ハ障碍ヲ齎ス虞ハナイカト云フコトヲ憂フルノデアリマス、此ノ點ニ付テ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス

○岸政府委員 別途豫算ニ於テ御審議ヲ願ヒマシタ生産力擴充ニ於キマシテハ、先日モ申上ゲマシタヤウニ傳染性流産ノ豫防、

制壓、種牡牛ノ増置等ニ依リマシテ生産頭數ヲ増加スル、是ハ從來ニ比シテ格段ニ殖エテ參ルノデアリマスガ、サウ云フヤウナコトニ依ツテ牛ノ數ヲ從來ノ増加ヨリモ遙ニ増シテ行クト云フコトヲ計畫シテ居ルノデアリマス、一面ニ於キマシテハ屠殺ガ相當ニ増シテ行キマシテモソレニ應ジテ行ケルヤウニスル、サウシテ其ノ肉ノ不足分ニ對シマシテハ、豚ノ増殖、家兎ノ増殖ト云フヤウナコトニ依リマシテ、是等ノ小家畜ノ肉ニ依ツテ肉ノ不足ハ滿シテ行クト云フヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、現在ニ於テハ消費ノ抑制ヲ法律等ニ依ツテヤツテマデ畜力關係ノ需給ヲ考ヘテ行クト云フ程ニハ考ヘテ居リマセヌガ、此ノ生産力擴充ガ行キマスルナラバ、其ノ點ハ心配ガナイト考ヘテ居リマス

○田中委員長 小田君ニ一寸御諮リ致シマス、大變有益ナ質問デスガ、重複シタ點モアリマスシシマスカラ、ドウゾ簡潔ニ御願致シマス

○小田委員 承知シマシタ、私ハ他ノ委員會ニ參ツテ居リマシタノデ重複スル點モアルカモ知レマセヌガ、自分デハ分リマセヌカラ、重複シタ點ガアリマシタナラバ其ノ

旨教ヘテ戴キタイト思ヒマス——進ンデ伺ヒタイノハ豚ハ、別デアリマスガ、家兎ノ獎勵ニ付テデアリマスガ、此ノ家兎ノ肉ヲ購入シヨウト云フ場合ニ、普通ノ肉屋デハ賣ツテ居リマセヌ、故ニ之ヲ獎勵サレルナラバ、其ノ販賣機構ニ付テモ十分御配慮ヲ煩ハスコトガ出來マスレバ、結構ダト思ヒマス、次ニ私ハ一ツ地方的ノ實例ヲ舉ゲテ伺ヒマスガ、沖繩縣ノ八重山郡石垣島及ビ西表島ニ於テ昨年デアリマシタ牛疫ガ猖獗ヲ極メテ、西表島ノ如キハ殆ド全部ノモノガ斃死致シマシタ、斯ウ云フヤウナコトカラシテ只今ノ生産頭數ヲ増加スルヤウナ計畫ヲ御進メニナツタンダト思ヒマス

ガ、サウ云フヤウナ方面ニ於テモ相當施設ヲ十分ニサレルトカ、十分ノ御努力ヲサレルトカシタナラバ、斃死頭數ヲ餘程減少スルコトガ出來ルト考ヘマス、特ニ沖繩ナドハ農産收入ガ限定サレテ居テ、生産物ノ主ナルモノハ甘蔗位ノモノデアル、ソコヘ持つテ行ツテ畜牛ガ病氣ノ爲ニ斃レタトナレバ、生活ガ成立タヌト云フコトニナリマスカラ十分御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラハ主トシテ乳牛ニ付テ御企畫ヲサレテ居ルヤウデアリマスガ、山羊乳ニ付テ

何カ御考慮ニナツテ居リマセヌカ、牛乳ヨリ山羊乳ノ方ガ營養價值ハ餘程高度ノモノデアルト云フヤウニ吾々ハ感じテ居リマス

○岸政府委員 第一點兎肉ノ販賣ニ付テハ御話ノ點ハ十分考ヘテ見タイト思ヒマス、ソレカラ沖繩ノ八重山ノ病氣ハ牛ノ蠕熱ダラウト思フノデアリマス、是等ニ付テハ目下沖繩縣ノ血清製造所ニ於テ其ノ研究ヲ爲シ、豫防制壓ニ努メテ居リマス、吾々ノ方ニ於テモ之ヲ法定傳染病ニ加ヘルコト等ニ付テ研究ヲ致シテ居リマス、産業牛ニ付テハ今何モ施設ヲシテ居リマセヌガ、十分研究シテ見タイト思ヒマス

○小田委員 私ノ質問ハ重複シテ居ルヤウデスカラ、此ノ程度デ打切ツテ置キマス

○田中委員長 一般的質問ハ之ヲ以テ終局致シマシテ、來ル十三日、即チ月曜日ニハ特ニ農林大臣ニ對スル質問ノミヲ致シテ、其ノ後直チニ討論ニ入リタイト思ヒマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後三時一分散會

〔深澤委員發言參照〕

參考附表

(一)

地下足袋
ゴムロール
作業服
(二) 原料ト製品トノ價格比較

小賣公定價格

原資材ヲ得ル場合
全購聯小賣可能値

昭和十二年春
(指數)

十三年末—十四年始
(指數)

棉 花(擔)

八二〇〇
(一〇〇)

五四二五
(六六二)

棉 絲(捆)

二八二〇〇
(一〇〇)

二〇六〇〇
(七三〇)

パ ル プ(兀)

一五
(一〇〇)

一二〇〇〇
(二二〇〇)

ゴ ム (兀)

八〇
(一〇〇)

七三九
(七三七)

織物業勞銀指數

(一〇〇)

(一〇三、三)

スレン作業服(着)

一五〇
(一〇〇)

六〇〇〇
(二四〇〇)

夜 具 地(反)

一〇〇〇
(一〇〇)

三二〇五
(二五二五)

地 下 足 袋(足)

八〇
(一〇〇)

一、一五
(二四三七)

運 動 靴(足)

四七
(一〇〇)

六八
(二四四六)

ゴ ム 靴(足)

二四五
(一〇〇)

三九九
(二六二八)

鉄 鐵(屯)

六三二〇〇
(一〇〇)

八八五〇
(二四〇〇)

銅 鐵(百疋)

二〇、五〇
(一〇〇)

一九、〇〇
(九二二二)

脱 穀 機(臺)

一五、五〇
(一〇〇)

二三、〇〇
(二四八三)

製 繩 機(臺)

二一、〇〇
(一〇〇)

三三、〇〇
(一五二三)

除 草 機(臺)

二、〇〇
(一〇〇)

二、五〇
(一二五〇)

石 油 發 動 機(臺)

一九五、〇〇
(一〇〇)

二四〇、〇〇
(一二三〇)

(三) 最近市價ト產組合價格トノ對比一例

東京メリヤス本春見
本市價格(最終卸賣)

本會組合渡
又ハ推定價格

ク レ ー プ

一九、五〇
(一〇〇)

一〇、五〇程度

申 又 (純綿)三〇番手

一〇、〇〇

四、一五

〃 又六〇番手

一一、二〇

五、四五

〃 全ス・フ三〇番手

六、〇〇

四、四六

(四) 農產物ト必需資材トノ價格昂騰ノ對比

昭和十二年春
(一) 內ハ指數

昭和十四年一月
(一) 內ハ指數

米 (石)

三二七〇
(一〇〇)

三四九〇
(一〇〇)

小 麥(擔)

九、八五
(一〇〇)

一二二〇
(一二三、八)

穀 類 卵

一〇〇
(一〇〇)

一〇三、五

雞 卵

八、一〇
(一〇〇)

一一、五〇
(一二四、九)

食 料 農 產 物

(一〇〇)

(一〇六、八)

パ タ ー 一(一封度)

一、三八
(一〇〇)

一、四五
(一〇五、〇)

チ ー ズ(一封度)

一、二一
(一〇〇)

一、三〇
(一〇六、五)

煉 乳(三九〇瓦
四打入一函)

一五、〇〇
(一〇〇)

一六、〇〇
(一〇六、六)

硫 安(ナメ)

三、四五
(一〇〇)

三、八四
(一二一、三)

豆 粕(一枚)

二、四〇
(一〇〇)

二、八五
(一一八、七)

過 燐 酸(一叭)

一、二五
(一〇〇)

一、〇〇
(一六〇、〇)

肥	料	(一〇〇)	(一四四、〇)
飼	料(一二五斤)	七、五〇	九、五〇
		(一〇〇)	(二六、七)
岡	木 綿(反)	一、九五	一、八〇
		(一〇〇)	(八九、四)
スレ	ン作業服(着)	二、五〇	六、〇〇
		(一〇〇)	(二四〇、〇)
夜	具 地(反)	二、〇〇	三、〇五
		(一〇〇)	(二五二、五)
地	下 足 袋(足)	一、八〇	一、一五
		(一〇〇)	(四三、七)
ゴ	ム 靴(足)	二、四五	三、九九
		(一〇〇)	(二六二、八)
脱	穀 機(臺)	一、五〇	二、三〇
		(一〇〇)	(二四八、三)
製	繩 機(臺)	二、〇〇	三、六〇
		(一〇〇)	(一五二、三)
除	草 機(臺)	一、〇〇	一、五〇
		(一〇〇)	(二五、〇)
右	平 均	(一〇〇)	(一六四、二)